



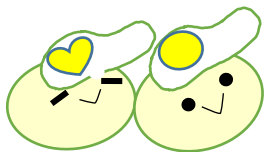
# KIMIOTO



君の音に耳を傾け、共に考える

長岡市障害者基幹相談支援センター通信 Vol.22(2026.3)

北に向かう白鳥の群れが、田んぼの上で羽を休めている。そこにカモやサギが混じっているのを見ると、なんだか妙に応援したくなる——そんな、キミヲくんの春です。



## サービス受け皿検討部会の成果

生活介護の受け皿不足(特に強度行動障害者)が喫緊の課題であるとの声を受け、令和3年度から自立支援協議会中に「サービス受け皿検討部会」を設けて5年。どのような成果が上がったのか、検証してみました。

部会での検討を受け、長岡市では

### 取組み1 「長岡市強度行動障害者受け入れ促進事業」を創設

11か所の事業所が補助金を利用し、プライベートテント、リラクゼーション機器の購入、衝撃防止型のカームダウンルームの整備等の施設整備を行った。

### 取組み2 「長岡市強度行動障害支援者研修会」の実施

基礎編・実践編・医療編とテーマを分け、支援者のスキルアップを図った。参加者からは、「理解が深まって、受け入れに前向きになった」との声。

### 成果 生活介護における、強度行動障害者の受給決定数の増加↑

令和5年度 251人 ⇒ 令和7年度 272人 (21人、8.3%増)  
停滞気味だった「強度行動障害者」の受け入れが確実に増加した。

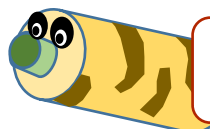
### 今後 強度行動障害者の受け入れを、さらに進める取り組みを検討

日中一時支援の受け入れ増も目指す  
生活介護事業所受け入れ窓口一覧表の作成  
もっと深掘り、強度行動障害研修の開催 など

今後も様々なことにチャレンジしていきます！

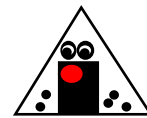


部会員の皆様、様々な検討、ご意見ありがとうございます



成果が上がるのはうれしいことね！  
皆さんも部会の見学に来てみてください





長岡市表町1丁目10番地5 ☎ 89-8973

職員体制：管理者1名 相談支援専門員1名

Q. 「Neo ながおか」って、どんなところ？

A. 母体の One ながおかで就労移行支援、就労定着支援、就労選択支援を運営しています。利用を希望される方がスムーズに相談支援を受けられるよう、R7年4月より相談支援事業を始めました。相談支援専門員1名の事業所ですが、Neo ながおかに頼んで良かったと思ってもらえるよう、責任をもって相談を受けています。

Q. 特徴はどんなところ？

A. 働くうえで大切なこと、企業側の求めることなど、就労支援の経験をもとに相談に応じることが出来るのが強みです。

Q. 支援のやりがいとは？

A. サービスを利用してコミュニケーションがうまくなったり、ちょっとした成長や変化が感じられると嬉しく思います。一步踏み出すきっかけづくりを担えるのがやりがいです。



Q. 職場で心がけていることは？

A. 就労支援の職員含め、色々な職員と話しやすい環境です。相談支援専門員は一人なので、管理者と相談してアイデアを出し合っています。他の相談支援事業所や障害者基幹相談支援センターにも相談し、様々な情報を得るようにしています。

Q. あなたのリフレッシュ方法は？

A. 昔からサッカーが好きで、決まったチームをずっと応援しています。サブスクでも試合を見ますし、年に何回かは県外まで出かけます。チームの活躍がリフレッシュの源です。



友だちと小学校のグラウンドで、スカイラブハリケーンの練習をしたなあ……



キミヲくん、ドンピシャ世代だもんね



～本誌をご活用ください～

研修会をPRしたい、事業所を紹介したいなど、ご要望は障害者基幹相談支援センターまで

長岡市表町2丁目2番地21(社会福祉センター トモシア2F)

0258-39-2362 0258-86-0220(FAX) n-kikan-soudan@city.nagaoka.lg.jp



KIMIOTO はリニューアルし、年4回の発行になります。(次号は6月発行予定)引き続きよろしくお祈いします。

※長岡 PSC 須田支援員に表題の写真を提供頂いています